

給食だより



令和8年1月7日
練馬区立北町小学校

『早ね 早起き
あさごはん』
シンボルマーク



あけましておめでとうございます



冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まります。昔から「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。
給食は1月9日(金)からです。本年も引き続き、衛生面に細心の注意をはらい、安全でおいしい給食を提供できるよう取り組んでまいります。学校給食運営へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



1

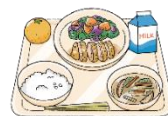
1月

給食目標

給食について

知ろう!

給食の時間では、準備から片づけの実際の活動をくりかえし行うことで、望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけることができます。1/24～30の全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などをみなさんに知ってもらい、給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。この機会に、好きな献立や給食時間の印象深い出来事など、給食の思い出をご家庭で話してみてもいいかなですか?



1月の献立紹介



献立および食材の産地は学校HPにて公開しています。ぜひご覧ください。



- 1/14 (水): 練馬区一斉給食～長ねぎ～

今年度7回目の一斉給食です。今回は、練馬区産の「長ねぎ」を15kg使って『ねぎ塩豚丼』を作ります。とれたて新鮮な練馬区の長ねぎを味わいましょう。

- 1/24 (土)～30 (金): 全国学校給食週間

給食の歴史にちなんだ献立や絵本の献立、郷土料理などを提供します。お楽しみに★

ぜん こく がっ こう きゅうしょくしゅう かん

1月24日～30日は、**全国学校給食週間**です！

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



学校給食の移り変わりを見てみよう！



明治22年	戦後（昭和20～30年代）	現在
<p>私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。</p>	<p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。</p>

学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。

北町小学校の給食を一部紹介します ～食べて学ぶ～

たなばた



世界の料理～ブラジル～



地場産物



3学期も学校給食へのご協力をよろしくお願いいたします

★給食で必要なもの

- ☐ ランチョンマット
- ☐ くちふき用タオル
- ☐ マスク（配膳時に着用）

★洗濯のお願い

給食当番は白衣・帽子を週末に持ち帰ります。また、ワゴンカバーはクラス毎で順番に持ち帰ります。洗濯をして、週明けに持たせてくださいますようお願いいたします。

